



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月4日

上場会社名 株式会社 丸運

上場取引所 東

コード番号 9067 URL <http://www.maruwn.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 市原 豊

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 住吉 彰

TEL 03-6861-3411

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	36,362	0.5	△5	—	33	△57.4	△293	—
25年3月期第3四半期	36,171	△1.1	46	△93.0	78	△89.1	△138	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 △146百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △164百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△10.17	—
25年3月期第3四半期	△4.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	39,724	18,536	46.2	634.72
25年3月期	40,482	18,843	46.1	645.35

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 18,338百万円 25年3月期 18,646百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
26年3月期	—	3.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	4.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	△0.8	370	—	370	—	30	—	1.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	28,965,449 株	25年3月期	28,965,449 株
26年3月期3Q	73,032 株	25年3月期	71,882 株
26年3月期3Q	28,893,347 株	25年3月期3Q	28,893,830 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要もみられて個人消費が増加し、為替の円安を背景に金額ベースで輸出・輸入とも膨らみ、公共投資が底堅く推移しており、景気は緩やかに回復しているとみられます。

陸運業界においては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要もあり、消費関連貨物、建設関連貨物の輸送量が堅調に推移しましたが、設備投資が盛り上がりを欠き生産関連貨物の輸送量は、マイナス基調に推移しました。そして、為替の円安による燃油費の上昇、人手不足による人件費の上昇等によって厳しい経営環境が続きました。

このような状況下にあつて、当社グループは、貨物輸送事業に於ける物流品質の標準化や物流センターの一部再編によるコスト競争力の強化及び新規荷主の獲得、流通貨物事業に於ける合弁による低温物流事業の営業力強化や運営コストの削減、国際貨物事業に於ける中国拠点の業容拡大、石油輸送事業に於ける安全管理体制の再構築に注力することで業績回復に努めました。

これらの結果、液体輸送事業の減収はあつたものの、流通貨物事業、国際貨物事業の増収により、営業収益は前年同期並みの363億62百万円となりました。経常利益は、第2四半期末に契約解除をした流通貨物事業における3PL受託事業の不振等により33百万円にとどまりました。また、特別損失として一部物流センターの売却に伴う減損損失や流通貨物事業における契約解除に伴う特別退職金等を計上したことから当第3四半期純損益は、2億93百万円の損失となりました。

セグメント別の業績概況は次のとおりであります。

貨物輸送

当部門の主力である一般貨物輸送・倉庫事業については、羽田京浜物流センターの本格的稼働や消費税率引き上げに伴う駆け込み需要などによる取扱量の増加はありましたが、既存顧客の貨物取扱量の減少を上回るまでには至らず、取扱貨物輸送量は減少しました。

鉄道利用運送においては、既存顧客の拡販等に成果を上げましたが、大口荷主の取扱量の大幅な減少をカバーするまでには至らず、貨物取扱量は減少となりました。

これらの結果、営業収益は前年同期に比べ0.7%の減収となりました。

経常利益は物流センター補修費用等があり前年同期に比べ37百万円減益の4億18百万円となりました。

流通貨物

当部門の主要事業である合弁による低温物流事業については、新規顧客の獲得や季節需要を積極的に取り込むことにより、営業収益は前年同期と比べ大幅に拡大しました。なお、第2四半期末で3PL受託事業については、撤退をしました。

これらの結果、営業収益は前年同期に比べ23.4%の増収となりました。

経常損益は3PL受託事業の不振及び撤退により前年同期に比べ64百万円悪化し6億31百万円の損失となりました。

液体輸送

当部門の主力である石油輸送については、石油製品の国内需要減少、特に暖冬の影響で灯油の需要が減少したことにより前年同期に比べ輸送量が減少しました。

化成品輸送については、新規顧客の獲得等により長距離輸送が増加しました。

これらの結果、営業収益は前年同期に比べ1.7%の減収となりました。

経常利益はコストの削減等により前年同期並みの1億84百万円となりました。

国際貨物

当部門においては、第1四半期から中国の在外子会社を連結の範囲に含めたことが主な要因となり、営業収益は前年同期に比べ4.7%の増収となりました。

経常利益は連結子会社の増加により増益効果はあつたものの、既存顧客の利益率が低下したことにより前年同期並みの60百万円となりました。

当第3四半期（累計）セグメント別の営業収益及び経常利益は次のとおりです。

セグメント	営業収益（百万円）	前年同期比（％）	経常利益（百万円）	前年同期増減額 （百万円）
貨物輸送	19,393	99.3	418	△37
流通貨物	1,804	123.4	△631	△64
液体輸送	11,059	98.3	184	12
国際貨物	3,944	104.7	60	△0
その他	160	101.0	1	45
合計	36,362	100.5	33	△45

- (注) 1. その他はビル賃貸、保険代理店及び各報告セグメントに分配していない全社収益・費用の純額等であります。
 2. 営業収益には、消費税等は含まれておりません。
 3. 本年実施した組織再編に伴い、事業セグメントを上記のとおり変更し、前年同期比については、前年同期実績値を変更後の区分に組み替えております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の総資産は397億24百万円となり、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）に比べ7億57百万円減少しました。

このうち、流動資産は90億75百万円となり、2億62百万円減少しました。この主な要因は、受取手形及び営業未収入金の増加が2億78百万円ありましたが、現金及び預金が6億80百万円減少したことによるものであります。また、固定資産は306億36百万円となり、4億82百万円減少しました。この主な要因は、土地及び建物等の売却による減少及び有形固定資産の減価償却が進んだことに伴う減少によるものであります。

当第3四半期末の負債合計は211億88百万円となり、前期末に比べ4億50百万円減少しました。この主な要因は、借入金の減少1億91百万円及び賞与引当金の減少3億16百万円であります。

純資産合計は185億36百万円となり、前期末に比べ3億7百万円減少しました。この主な要因は、投資有価証券の時価評価によるその他有価証券評価差額金の増加が1億47百万円ありましたが、株主配当による利益剰余金の減少1億73百万円及び当第3四半期純損失が2億93百万円になったこと等によるものであります。この結果、純資産合計は減少したものの、総資産も減少した為に自己資本比率は前期末の46.1%から46.2%と増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年10月22日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,092	1,411
受取手形及び営業未収入金	6,161	6,440
有価証券	30	10
商品及び製品	5	5
原材料及び貯蔵品	38	47
その他	1,014	1,163
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	9,337	9,075
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,391	6,974
土地	18,335	18,180
その他（純額）	2,351	2,366
有形固定資産合計	28,078	27,521
無形固定資産		
投資その他の資産	204	200
投資有価証券	2,114	2,298
その他	809	701
貸倒引当金	△89	△85
投資その他の資産合計	2,835	2,914
固定資産合計	31,118	30,636
繰延資産	27	13
資産合計	40,482	39,724
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	4,139	4,141
短期借入金	4,653	5,166
未払法人税等	199	35
賞与引当金	578	262
その他	2,310	2,469
流動負債合計	11,880	12,075
固定負債		
長期借入金	4,423	3,719
再評価に係る繰延税金負債	2,390	2,387
退職給付引当金	2,193	2,252
役員退職慰労引当金	53	46
その他	698	708
固定負債合計	9,759	9,113
負債合計	21,639	21,188

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,559	3,559
資本剰余金	3,077	3,077
利益剰余金	9,375	8,926
自己株式	△20	△20
株主資本合計	15,991	15,543
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	431	579
土地再評価差額金	2,223	2,217
為替換算調整勘定	—	△1
その他の包括利益累計額合計	2,654	2,795
少数株主持分	196	197
純資産合計	18,843	18,536
負債純資産合計	40,482	39,724

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
営業収益	36,171	36,362
営業原価	34,379	34,574
営業総利益	1,791	1,788
販売費及び一般管理費	1,745	1,793
営業利益又は営業損失(△)	46	△5
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	48	51
助成金収入	27	9
その他	54	59
営業外収益合計	129	119
営業外費用		
支払利息	62	61
その他	35	18
営業外費用合計	97	80
経常利益	78	33
特別利益		
固定資産売却益	46	70
その他	12	5
特別利益合計	58	75
特別損失		
固定資産除売却損	51	56
減損損失	11	80
事業撤退損	—	77
その他	18	37
特別損失合計	80	251
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	56	△142
法人税、住民税及び事業税	132	75
法人税等調整額	72	75
法人税等合計	204	150
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△148	△293
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△10	0
四半期純損失(△)	△138	△293

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△148	△293
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	147
為替換算調整勘定	—	△1
その他の包括利益合計	△16	146
四半期包括利益	△164	△146
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△154	△147
少数株主に係る四半期包括利益	△10	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。